

至誠

令和元年度 津島市立神守中学校 学校通信

11号 (令和元年 7月12日発行)

= いのちの授業 1年 =

7月2日(火)、4日(木)、1年生では各クラス1時間、保健センターの保健師さんに来ていただいて「いのちの大切さを考える授業」を行いました。命が誕生するまでの過程の説明や、妊婦ジャケットの着用体験、出産の様子ビデオ視聴、赤ちゃん人形の抱っこ体験を通して、生徒は改めて命の大切さについて考えることができました。



=

赤ちゃん人形を抱っこしてみて、思ったより重たくて、とても驚きました。また、この授業を受けて、僕を産んで育ててくれた親に感謝しかありません。赤ちゃんを産むまでに、こんなに苦労して大変なのに、しっかり守ってくれてとてもすごいし、僕が将来結婚したときに、この授業で学んだことを思い出して、妻をしっかり手助けしてあげたいと思いました。(1B 男子)

今日の授業では、小さな命について学びました。わたしたちが生まれて(存在している)、健康に毎日過ごすことができるのは、母や父が支え合ってわたしを育ててくれたからだ、感謝することができる授業でした。「生きる」ということは、色々な人の苦労があるということにも気づかされました。本当にためになる授業だったと思います。(1A 女子)

中総体激励会 = ~ 健闘を誓い合って ~

7月1日(月)5時間目に中総体激励会を行いました。吹奏楽部の演奏で入場をしたあと、出場する選手たちは堂々とステージの上で大会への決意や目標を発表したり、円陣を組んでかけ声をかけたりして、健闘を誓いました。また、激励する側の生徒は、出場する選手に対して心から応援するなど、温かい会になりました。

